

# “直虎”観光楽しんで

## 遠州鉄道周遊セット商品など企画

浜松市を舞台にした大河ドラマ「おんな城主 直虎」の放映に合わせ、遠州鉄道(同市)は観光客に公共交通機関を利用してゆかりの地巡りを楽しんでもらおうと、関係機関と連携した商品やイベントを企画した。

10日には同社のバスと電車、天竜浜名湖鉄道の1日フリー乗車券、井伊家菩提(ぼだい)寺・龍潭寺の拝観券、15日にオープンする大河ドラマ館の入場料がセットになった「いいね!直虎1 Dayパス」を発売した。

価格は通常(4340円)の47%引きの2000円。近隣の観光地12カ所で使用できる特典付きクーポン券3枚、遠鉄百貨店地下食品売り場で使用



遠州鉄道と天竜浜名湖鉄道が発売した「いいね!直虎1 Dayパス」

ICカード乗車券「ナイスパス」の利用で、大河ドラマ館の入場料が2割引きになる企画も始める。指定されたバス停や駅で降車した後、大河ドラマ館最寄りの天竜浜名湖鉄道気賀駅を訪れ、専用読み取り機にナイスパスをタッチすると、クーポン券が発行される。

期間はいずれも15日から2018年1月14日まで。遠州鉄道の担当者は「公共交通を使ってお得に観光を楽しんでほしい」と呼び掛けている。問い合わせは遠鉄バスコールセンターへ電053(455)2255へ。(浜松総局・宮崎浩一)



展望回廊に設置した観光パネル  
—浜松市中区のオークラアクトシティホテル浜松

## 関連史跡を展望

オークラホテル浜松 景観パネル設置  
建物の高さが県内一地上185階の45階のオークラアクトシティホテル浜松(浜松市中区)はこのほど、「おんな城主 直虎」

にちなんだ史跡、景観を紹介する2種類の観光パネルを設置した。

展望回廊には、眺望の写真に直虎ゆかりの史跡の位置関係を書き込んだパネルを設置した。井伊家菩提(ぼだい)寺の龍潭寺や井伊谷城跡のほか、徳川家とのつながりから浜松城や犀ヶ崖古戦場など15カ所の史跡の説明も添えられている。空気が澄んだ冬場は天候次第で遠くまで眺められ、観光客がパネルを見ながらお目当ての観光地を一望できる可能性もあるという。

ロビーには高さ2・6階、幅3階の大型パネルを掲示し、各史跡や地元グルメを写真付きで紹介している。時間制の観光タクシーや特典付きレンタカーも案内する。

展望回廊の一般入場料は中学生以上500円、小学生300円。パネルは来年1月まで設置する予定。